

令和4年10月21日
 西日本高速道路株式会社

報道関係各位

E78 東九州自動車道(隼人道路) 隼人西 IC^{かじき}～加治木 IC 間の 4 車線化工事が 令和4年11月30日(水曜)に完成します

NEXCO西日本九州支社(福岡市博多区、支社長:中村 順)が工事を進めて参りました E78 東九州自動車道(隼人道路) 隼人西インターチェンジ(IC)～加治木 IC 間(延長:約 3.6km)の 4 車線化工事が、令和4年11月30日(水曜)に完成します。

当該区間において、4 車線化が完成することにより、2 車線(片側 1 車線)で対面通行していたものが、4 車線で走行いただけるようになります。

引き続き、隼人東 IC～隼人西 IC 間におきましては工事を進めてまいります。高速道路をご利用のお客様および沿線にお住まいの皆さまには、ご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

1. 完成日時

令和4年11月30日(水曜) 10時
 ※悪天候などにより、順延する場合があります。

2. 完成区間

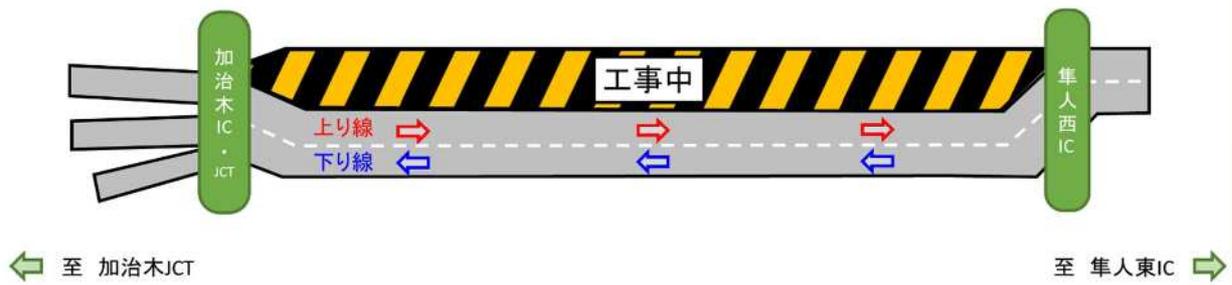
E78 東九州自動車道 隼人西 IC～加治木 IC 間 約 3.6km

(位置図)

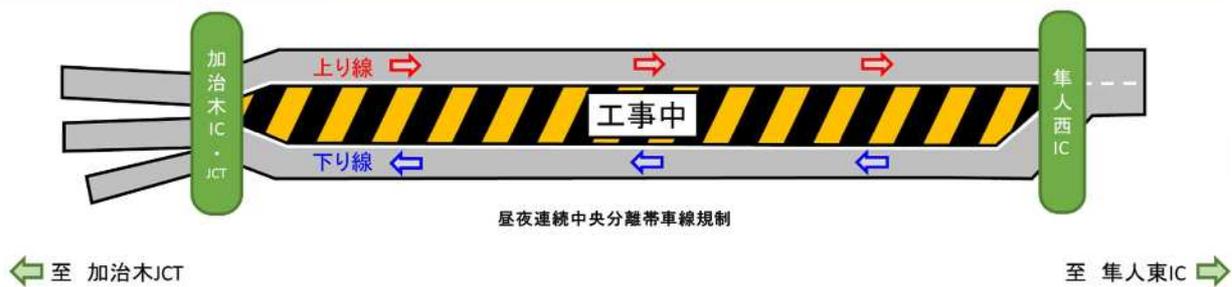


3. これまでの工事進捗状況

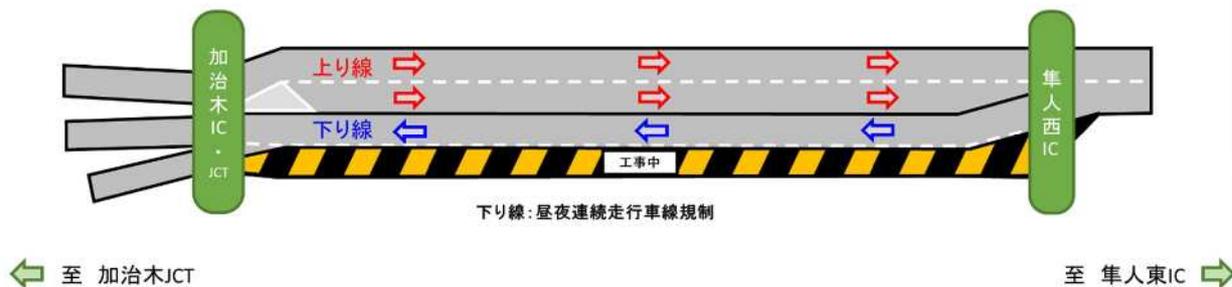
ステップ① 2車線対面通行【令和4年4月22日まで】



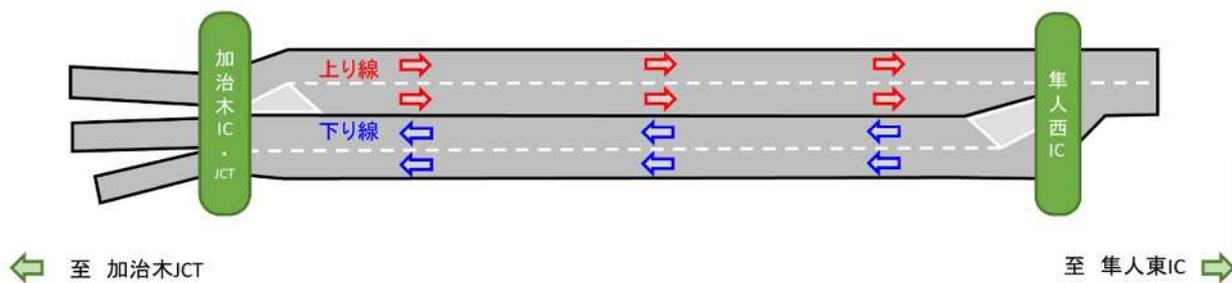
ステップ② 車線運用切替【令和4年4月22日から対面通行解消】



ステップ③ 車線運用切替【令和4年9月30日から】



ステップ④ 4車線化完成【令和4年11月30日(水曜)10時から】





4. 4 車線化による整備効果

E78 東九州自動車道(隼人道路)隼人西 IC～加治木 IC の 4 車線化により以下の整備効果が期待できます。(詳しくは別紙をご覧ください)

- 完成区間の概要
- さらなる安全性の向上
- 災害時のリダンダンシー機能強化
- 救急医療活動の支援・地域産業の活性化

この件に関するお問い合わせは、

NEXCO西日本 九州支社 広報課 ふかまつ 深松、おの 小野 TEL:092-260-6100(マスコミ専用)

※本資料は、国土交通省九州記者会、九州建設専門記者クラブおよび鹿児島県政記者クラブにお配りしています。

■さらなる安全性の向上

- 対面通行による暫定2車線区間は、4車線区間に比べて、交通事故が発生した場合、死亡事故となる割合が高くなっています。
- 4車線化により、中央分離帯を設置し上下線が分離されることで、対向車線への飛び出しを防止し、安全性が向上することが期待されます。

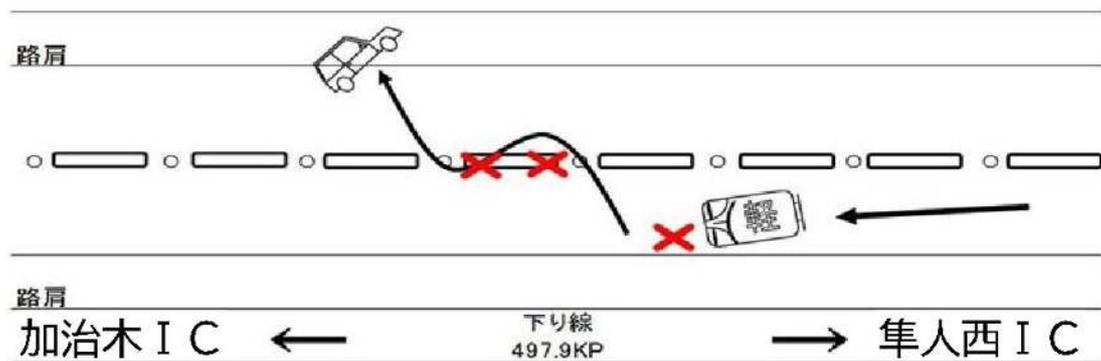
●交通事故による通行止め事例

発生日) 令和3年4月22日(木曜)

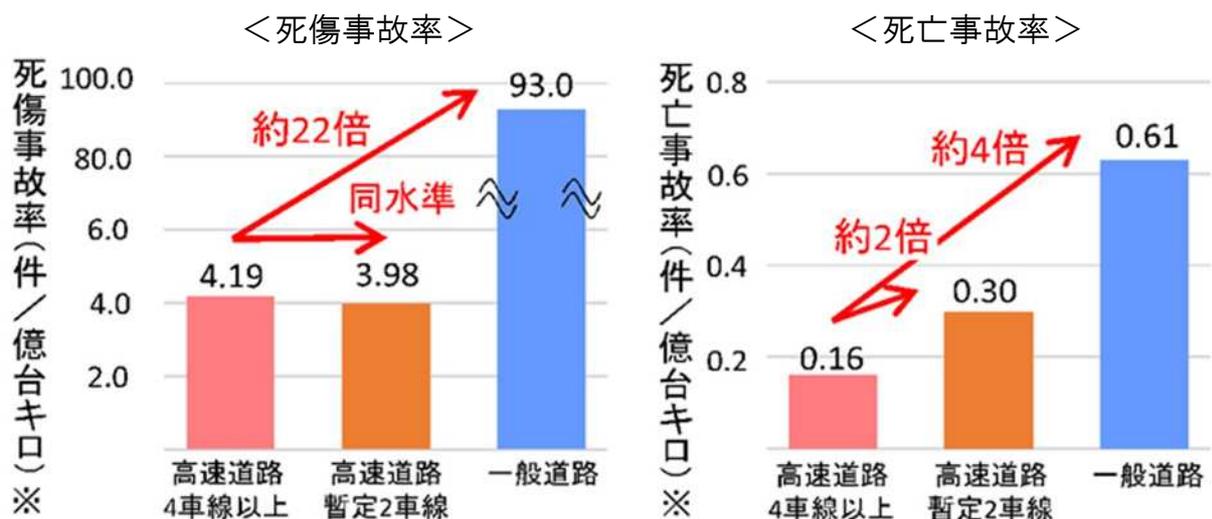
発生場所) 隼人西IC～加治木IC

事故概要) 隼人西から加治木方面へ進行中の車両が、ハンドル操作を誤り対向車線へ突破したもの

1時間34分の通行止め



●暫定2車線と4車線以上の事故率



※ 高速道路：高速自動車国道（有料）（H25）
一般道路：H25

出典 道路分科会第13回事業評価部会(H28.3.10)

4車線化により上下線を分離することで、
対向車線への飛び出し防止など安全性が向上

■災害時のリダンダンシー機能強化

- 異常降雨によるのり面崩壊等の災害時において、対面通行となる暫定2車線区間では、復旧工事がすべて終わらなければ通行する車線を確保することが困難なことから、通行止めが長時間必要になります。
- 4車線以上の区間では、被災した側の車線の復旧工事を行いながら、同時に反対側の車線を対面通行運用するなど、車線を有効に活用することで、災害時の迅速な交通確保などが可能となります。

《暫定2車線区間の災害復旧事例》

区間： E10 東九州自動車道
 椎田南IC～豊前IC
 概要： 平成30年7月豪雨 のり面崩壊



暫定2車線区間は、復旧作業が終わらないと交通確保が困難



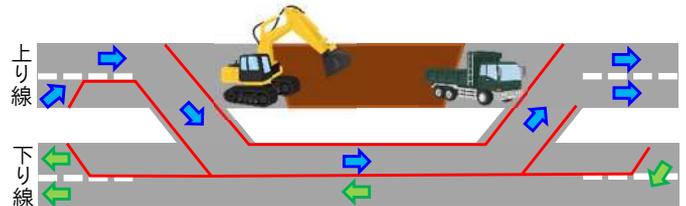
全面通行止め: 約1か月間

《4車線区間の災害復旧事例》

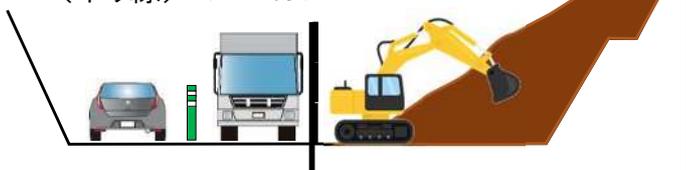
区間： E3 九州自動車道
 横川IC～溝辺鹿児島空港IC
 概要： 令和2年7月豪雨 のり面崩壊



4車線のうち、2車線を復旧作業の施工ヤードとして利用し、早期に交通を確保



<対面通行> (下り線) (上り線) <復旧作業ヤード>



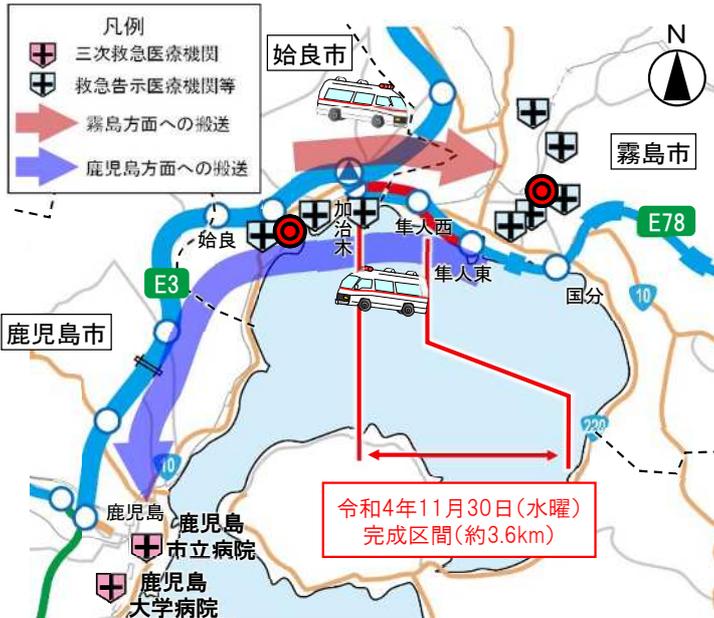
全面通行止め: 約8時間
 交通解放: 約19時間

救急医療活動の支援・地域産業の活性化

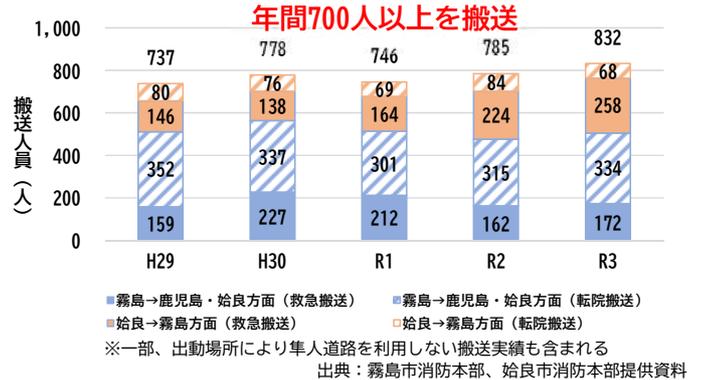
(1) 救急医療活動の支援

- 沿線地域の消防署においては、管外への救急搬送および転院搬送時に高速道路を利用しており、その実績は年間700人以上になります。
- 4車線化により、搬送時間の短縮が図られることで、救急搬送時のリスク低減が期待されます。

◆霧島市内・始良市内から管外への搬送ルート



＜隼人道路周辺の救急搬送実績件数＞



対面通行2車線区間で大型車の追い越しを行う際は、広い幅員の箇所限定されていました。4車線化により、追い越しがスムーズに行えるようになるほか、渋滞の減少など、救急搬送時のリスク低減が期待されます。

霧島市消防本部



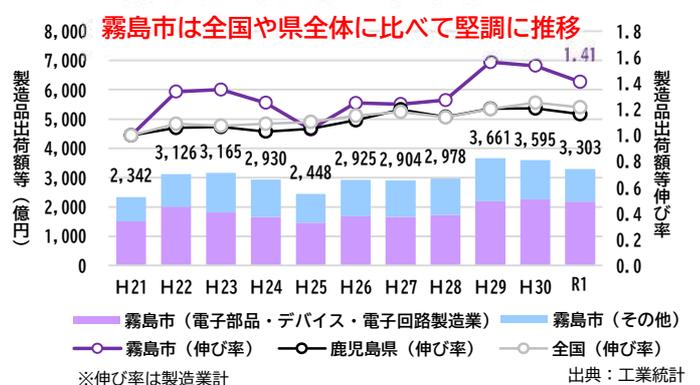
(2) 地域産業の活性化

- 霧島市の製造品出荷額等は、鹿児島県第2位の約3,300億円にのぼり、平成21年以降の伸び率は全国平均を上回っています。
- 4車線化により、定時性が確保されることで輸送効率の向上などが図られ、電子部品・デバイス・電子回路製造業をはじめとする地域産業の活性化が期待されます。

◆霧島市の電子デバイス事業所の立地状況



＜霧島市の製造品出荷額等の推移＞



近年、半導体関連分野が好調で、工場等の立地に関する問い合わせが増加しています。4車線化は、企業誘致のほか、通勤圏の拡大による労働力の確保にも期待できます。

霧島市商工振興課



※図中の輸送経路は、事業所ヒアリング結果による高速道路の利用経路